



リスクを抑え、音楽フェスティバルを開催するための
感染症拡大防止ガイドライン

2020年8月14日 第1稿

SAFE
MUSIC
FESTIVAL



リスクを抑え、音楽フェスティバルを開催するための
感染症拡大防止ガイドライン

GUIDELINES

ガイドライン作成の目的	P. 2
3つの基本指針 フィジカルディスタンスの確保 / 飛沫防止 / 手指消毒	P. 3
開催前 協力会社との連携 / 来場者への対策周知	P. 4
健康状態を注視 施工・運営スタッフの健康管理 / 来場者への注意喚起	P. 5
入場時 来場者の入場手続き / スタッフの取組み	P. 6
会場内①～④ 来場者の協力項目 / スタッフの取組み	P. 7～10
退場時 来場者の協力項目 / スタッフの取組み	P. 11
ステージ 来場者への注意喚起 / 機器の取り扱い / バックステージ	P. 12



REASONS

ガイドライン作成の目的

■ 感染防止対策として実施すべき基本事項の整理

公演主催者として感染防止への対処方針の趣旨・内容を十分に理解した上で、「感染防止のための基本的な考え方」及び「講じるべき具体的な対策」を整理し、制作関係者、運営スタッフ・来場者との協力体制構築の指針とする目的で、本ガイドラインを作成しております。

本ガイドラインは今後の感染状況を注視しつつ、必要に応じて適宜改定を行います。

■これまでと近い形での音楽イベント開催へ繋げる役割

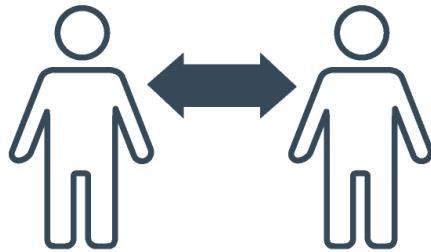
新型コロナウィルス感染が国内で広がり始めた当初から、音楽イベントはその規模の大小に関わらず、他業種に先駆けて自粛を余儀なくされております。まだまだ先の見えない不安定な状況が続くものの、文化活動再開に向けた一つの事例として、将来的に従来と近い形での音楽イベント実施へ繋いでいければと考えております。

3つの基本方針

フィジカルディスタンスの確保 / 飛沫防止 / 手指消毒



フィジカルディスタンス の確保



- ・人との間隔を空ける（最低1m）
- ・受付・販売などの場面では接触を回避できるよう工夫する
- ・楽屋挨拶、握手等の禁止

飛沫防止



- ・常時マスクを着用する
- ・会話をする際は真正面を避ける
- ・大声での発声・会話の禁止
- ・咳エチケットの徹底

手指消毒



- ・入場口に消毒液を設置する
- ・清掃作業後・食事前には必ず手洗い、または消毒を実施
- ・トイレ前に消毒液を設置する

開催前

協力会社との連携 / 来場者への対策周知



協力会社との連携

■ 出勤前の確認

- ・本ガイドラインの周知徹底
- ・施工・運営スタッフ全員の氏名・連絡先をリスト管理
- ・勤務判断基準（P.5）に該当するスタッフは出勤停止とする



■ 始業前の確認

- ・作業開始前に検温を実施し、37.5度を超えるスタッフは速やかに帰宅し、以降出勤停止とする
- ・基本指針（P.3）の遵守



来場者への対策周知

※SNS・公式HP・メール等で来場予定者への情報拡散を行う

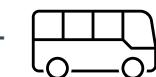
■ 健康状態への注視を促す

- ・来場判断基準（P.5）の周知を徹底する
- ・WEB問診票の事前登録を促す



■ 来場時・会場内対策への協力要請

- ・基本指針（P.3）遵守のお願い
- ・具体的な対策例をSNSで発信
- ・分散輸送のためバスチケットの購入を促す



健康状態を注視

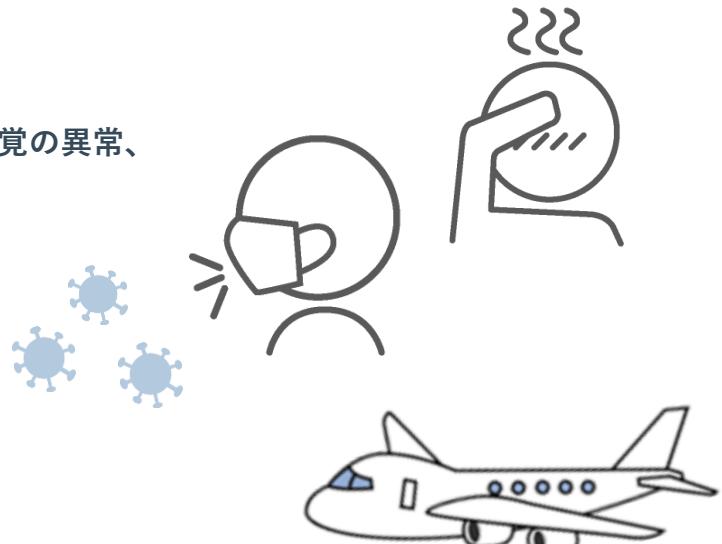
施工・運営スタッフの健康管理 / 来場者への注意喚起



来場・勤務 判断基準

下記自覚症状がある場合は来場・勤務をお控えいただく

発熱、咳、呼吸困難、全身の倦怠感、のどの痛み、鼻水、鼻づまり、息苦しさ、味覚の異常、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節痛、筋肉痛、下痢、吐き気、嘔吐の症状



下記状況に該当する場合は来場・勤務をお控えいただく

- ・保健所等の健康観察下にある方
 - ・来場日・勤務日前の14日間に発熱・体調不良の諸症状があつた方
 - ・来場日・勤務日前の14日間に新型コロナウイルス感染症が引き続き拡大している国・地域から日本に入国された方
- ※該当の国・地域は厚生労働省「水際対策の抜本的強化に関するQ&A」内「入国制限対象地域」をご参照下さい
- ・来場日・勤務日前の14日間に身近な方で新型コロナウイルスに感染した方、もしくは感染の疑いのある方がいらっしゃる場合

入場時

来場者の入場手続き / スタッフの取組み



来場者の入場手続き

- ①マスクを着用する 
- ②WEB問診票の登録（追跡アプリ登録は推奨） 
- ③持ち物検査
- ④非接触型体温計による検温 
- ⑤入場券をスタッフに提示する
- ⑥ドリンクチケット代金を支払う（電子決済推奨） 
- ⑦リストバンドを受け取り、手首に巻く
- ⑧手指の消毒 

スタッフの取組み

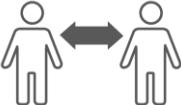
- ・来場者対応スタッフはマスク + フェイスシールドを着用する 
- ・待機列の間隔を確保し、密を避けるよう促す 
- ・拡声器を使用し、大声での誘導を避ける 
- ・発熱者、体調不良者は再チェックスペースへ誘導し、医療関係者の指示に従い、ご帰宅いただく 
- ・金銭授受や配布物を渡す際は接触回避のため、コイントレイなどを使用する 

会場内①

客席（スタンディング）



来場者の協力項目

- ・来場者同士のフィジカルディスタンスを確保する
※会場指定の区画規定に従う
- ・大声での発声、会話を控える
- ・マスク又は配布されるフェイスシールドを装着する
- ・ハイタッチ、モッシュなど来場者同士の接触を避ける

スタッフの取組み

- ・ステージモニターで来場者への注意喚起を行う
※エリアごとの注意事項など
- ・声援を煽る演出は控えるよう出演者へ依頼する
- ・密状態が発生していないか注視し、発見した場合は速やかに移動を促す
- ・基本指針を遵守できない来場者へは退場を促す

会場内②

飲食スペース / VIPエリア



来場者の協力項目

- ・飲食前には手指を消毒する



- ・待機列は1m以上の間隔を空ける



- ・対面での着席、会話は避ける

- ・飲食物のシェア、食器の使い回しはしない

- ・キャッシュレス決済を推奨。現金に触れた後は手指を消毒する



スタッフの取組み

- ・テントの横幕を一部開放するなど、換気に努める



- ・使い捨ての食器を使用し、1人前ずつ分けて提供する



- ・金銭授受の際はコイントレイを使用する

- ・テーブルや椅子はフィジカルディスタンスを確保できるよう配置する

- ・使用後のテーブルや椅子の清掃・消毒を徹底する
清掃後は手指を消毒する



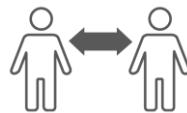
会場内③

販売ブース / クローク



来場者の協力項目

- 待機列は 1 m 以上の間隔を空ける



- キャッシュレス決済を推奨。現金に触れた後は手指を消毒する

- 商品に不必要に触れない



スタッフの取組み

- 不特定多数が手に取るサンプル品・見本品は扱わない



- 金銭授受の際はコイントレイを使用する



- 誘客は拡声器を使用し、大声での呼び込みなどは実施しない



- ブース内の換気を心がける
※盜難防止のため監視は怠らないようにする

- 最低限のスタッフで実施できるよう、オペレーションを工夫する



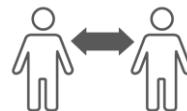
会場内④

トイレ / エコステーション



来場者の協力項目

- ・トイレの待機列は 1m 以上の間隔を空ける



- ・トイレの使用後は手指を消毒する



- ・使用済みのマスク、フェイスシールド、食器等はポイ捨てせず、エコステーションで廃棄する



スタッフの取組み

- ・定期的な清掃を徹底し、ドアノブや蛇口など不特定多数が触れる箇所は重点的に消毒する



- ・行列解消のため、誘導員が常駐する

- ・清掃時はマスク、手袋装着を必須とし、ゴミの廃棄後は手指を消毒する



- ・トイレ、エコステーションは極力分散させて配置する



退場時

来場者の協力項目 / スタッフの取組み



来場者の協力項目

- ・集団を作らないよう、スタッフの誘導に従う
A red circle with a diagonal slash over a silhouette of three people.
- ・ゴミは会場内のエコストーションで廃棄し、会場外へ持ち出さない
A silhouette of a person throwing trash into a trash can.
- ・交通機関を利用する際は大声での会話を控え、マスクを着用する
A silhouette of a person with a speech bubble containing a large red X.
- ・バスチケット購入者は事前にバス乗り場を確認しておく

スタッフの取組み

- ・退場口を複数か所設け、分散退場を促す



- ・場外スタッフと連携を取り、段階的な退場を促す
- ・最寄り駅周辺にスタッフを配置し、マスクの着用と密集回避をアナウンスする
- ・バス乗り場、駐車場利用者専用の退場口を設け、駅へ向かう動線と分散させる



ステージ

来場者への注意喚起 / 機器の取り扱い / バックステージ



ステージモニターの活用

- ・ステージ転換中に衛生対策の遵守をアナウンスする



- ・退場時には動線やバス乗り場の案内、ゴミ回収への協力を促す



使用機器の消毒

- ・マイクの使い回しは極力避け、持ち手部分やグリル内も洗浄する。



- ・DJ機器、操作卓などは機能に影響しない範囲で消毒する



楽屋の衛生対策

- ・楽屋入り前に出演者、関係者全員の検温を実施
※発熱・体調不良者はご帰宅いただく



- ・こまめな清掃、消毒、換気を徹底する



- ・ケータリングは1人前ずつ分けて提供する。

- ・楽屋への出入りは必要最小限の人員に留める